

# ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第71号

古牧だより通算165号

## 無火災を祈願し、27年度の仕事始め

### ～第6分団出初式・新年祝賀会～

長野市消防団長野第6分団出初式が、1月10日(土)午後2時古牧公民館で開かれました。式には第6分団員と来賓、住民自治協議会や各種団体長合わせて約100名が参加しました。

最初に第6分団編集のDVDで消防団の活動や歴史など約20分紹介後、ラッパ吹奏の中で開式されました。



伊藤分団長はあいさつで、古牧地区の26年度出動回数が25年度に比べて8件減少し4件、防火意識の昂揚があったと述べました。

小林住民自治協会長からは、防火防災、日頃の訓練、安全安心、生命や財産を守るため尽力いただいている消防団への感謝を申し上げ、自分たちの命は自分たちで守る、安全安心な地域づくりに努めていきたいと決意が述べられました。



続いて無火災祈願として各種団体を代表して6人がだるまに目を入れ開眼しました。

感謝状贈呈で

は、青木前分団長に長野市長感謝状と顧問の法被と記念品が贈られ、10年・20年と長年にわたって活動された団員に功労賞や努力賞等の各種の表彰伝達が行われました。

祝辞では、第6分団の活動に感謝を申し上げると共に、それぞれの持ち場で無災害・無火災を目指して一丸となって取り組んでいきたいとエールを送り、気持ちの引き締まる中で閉会となりました。

第2部では古牧地区新年祝賀会が開かれ、27年度の出発を祝うと共に、古牧地区の結束を固めるにぎやかな祝賀会となりました。

(総務部)



# 男 性も楽しく料理

## (男性の料理教室)

年齢を重ねるごとにふと脳裏をかすめるのは、一人になったら食事は？生活は？……考えれば限りがない。自分はラーメンしか作れなくても今までは何の不自由はなかったが、不安になり参加した。

1月16日参加者16人の料理教室は、「きのこ味噌煮込みパスタ」ほか2品で、食生活改善推進協議会の伊藤先生から食材の長所や短所、必ずすることとしないこと等の説明を受けて開始した。途中、先生の「笑



顔で楽しくやることが上達の秘訣」との声に、なるほど！と感心。4人一組の班ごとの作業は、みな一生懸命で、先生から「もっと細かく切って」、「そんなに蓋ばかり開けないで」とタイムリーな注意に、参加者に笑顔がこぼれた。自画自賛の料理を食べる昼食時、円やかでことのほか美味しくいただきました。

参加者には、自宅で食べている料理は簡単なものだと思っていたが、実際は手間もかかり大



変。今日は楽しく出来て、母ちゃんに感謝しなくてはと認識を新たにされた方もいた。

誰もが、一人になるときが必ず来ます。男性の皆さん、新しいジャンルに挑戦してみませんか…！  
(料理教室の参加者より)

# 介 護での 心がけを学ぶ

## (第2回介護者のつどい)

立春も間近な1月28日、本年度2回目となる「介護者のつどい」が古牧公民館で開かれました。

今回は福祉健康部と包括支援センターが共同で企画をし、家庭で日夜介護に奮闘している



人達が身体と心の負担をすこしでも少なくできないかと取り組んだもので、寒さ厳しいなか総勢約20人を超

える人が参加されました。

第一部では「認知症の父親を看取って」と塚田一弘氏による講演がありました。同氏は古牧在住で、永らく父親の介護を負われた経

験を持ち、本なども出版されている方です。体験をとおり介護で心掛ける事として、①自分の世界でなく認知症の人の世界に寄り添うこと、②周りの人に介護家族の事情を包まず話し、助けて貰うことの大切さについて実例を交えながら話されました。

その後、第二部では介護支援をテーマに、包括支援センター職員及び関係者による実技指導が行われました。

脳梗塞を起こし左半身が麻痺して動かない妻を夫が介助することをストーリーに、介護ベッド・入浴・歩行器の扱いなど寸劇を交えながら披露され、合わせて介護用具の紹介も行われました。

介助の要点は「潜在機能（この場合、妻にもとより備わっている機能）を福祉用具等で上手に利用して引き出し、力まかせにやらぬこと」とは締めくくりの貴重なアドバイスでした。  
(福祉健康部)



# 楽しいクリスマス会

(川端子育て支援)

昨年12月15日(月)午前10時から11時30分まで、川端子育て支援「クリスマス会」が川端公民館で開催されました。

朝に雪の舞う寒い日でしたが、23組のお母さんと子どもさんが次々とやってきました。



なかには生後1か月の赤ちゃんもいて、嬉しい限りでした。

人見知りして泣いている

お子さんには、ベテランの役員(お母さん)があやしたり、自由に子どもたちが遊んでいるそばで、お母さんたちも話に花が咲いて、大広間は狭く感じられるほどでした。今年は、



役員全員サンタの赤い帽子をかぶり、子どもたちと遊びました。親子・役員総勢60人の参加でした。

遊んだあと全員での片付けには、小さな子どもも手伝ってくれました。お茶の時間には、待ちかねたお菓子やミカンなどサンタさんからのプレゼントの順番をくじ引きし、サンタさんのところへ行って選びます。一欲しいものがもらえたかなー。

お茶を飲み、もっと遊びたいなど思っていると帰りの時間になってしまいました。「また次回に会いましょう」と帰っていきました。

(投稿 川端区竹内正子さん)

## 子ども会の集大成 活動発表会

2月21日(土)に古牧公民館で古牧地区子ども会活動発表会があります。13地区の子ども会会長は、各



地区のリーダーであり地区の代表として月に一度古牧公民館に集まり、5月子ども会総会、9月少年少女球技大会、10月ふるさとふれあい教室、12月クリスマス会、2月子ども会活動発表会を成功させる為に頑張ってきました。

一年を通して子ども達からは、「毎月来るのが大変だったけどやりがいのある仕事がたくさん出来た」(西和田)、「地区の人達と関わり地区を良くしようと頑張れたので、会長

をやってよかった。僕を支えてくれた人に感謝したい」(平林)、「役員の方々と相談してレクリエーションを考えたり、皆をまとめたりすることができ良かった。違う学校の人達と協力していろんな活動ができ仲良くなれる場になり楽しかった」(上高田)の声が聞かれました。行事を計画・進行する事の難しさ、大変さ、無事終了した時の達成感、次はこうしたいなど考えた事は良い経験になったと思います。一年間お疲れ様でした。

(青少年育成部)



# 中村公民館建設にご理解を — 老朽化による建替事業 —

中村区では、区民総会で区の地縁団体化とともに新公民館建設を区事業として実施することが承認され、現在公民館建設委員会を設置し平成27年度建設に向けて準備を進めているところです。

建設事業を検討する中で、予定していた現在の公民館敷地の使用が不可能となったため、中村遊園地（市所有地）の南東部分を借用す

る以外に場所の確保ができないという結論に至りました。

昨年12月古牧地区自治協議会総務部会において、各区長のご了承をいただきましたが、中村区民の拠り所となる公民館を中村遊園地内に建設することについて、古牧地区の皆様にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

（中村区 松橋孝裕区長）

## 2月、3月の主な行事実施日のお知らせ

\*は、多くの皆様の参加をお待ちしています。

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
子ども会活動発表会	2月21日(土)	古牧公民館	年間の活動の発表	青少年育成部 477-2185
男性の料理教室 *	3月3日(火)	古牧公民館	鮭の春色ちらしずしを作ります	ボランティアセンター 244-8159
交通安全啓発活動	3月4日(水)	西尾張部交差点		交通安全部 227-8219
青色回転灯車のパトロール	3月5日(木)	地区内		交通安全部 227-8219
市道白線引き	3月下旬	各地区	市道白線引き（～5月まで）	交通安全部 227-8219

しゃばえんびつ



## 捨てたものじゃない

昨年のことです。大雪の夕方、いつもの狭い路地を車で通過しようと積雪のため低速で気をつけて車を進めていると、ズルッと後輪が路肩の側溝に落ちてしまい、まずいと思って脱出しようとしているうちに前輪も側溝にはまってしまいました。

観念していると近所に住む男性が声をかけてくれて自分のことのように親身になって素手で雪をかき、スコップ・ジャッキ・材木を持参してきて懸命に作業していただきました。そのうちに通りかかった車の男性も手を貸してくれ、車は無事に側溝から脱出させることができました。本当に感謝の一言です。

世知辛い世の中ですが、まだまだ捨てたものじゃないと感動いたしました。以来「人に優しく」を心がけています。  
（荒井 一郎）



### 古牧地区の世帯数と人口

27年1月1日現在

10,932 世帯

26,539 人

（男 13,043人 女 13,496人）

- 発行所 古牧地区住民自治協議会  
（電話 259-8359）
- 発行者 小林 逸郎
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈱小池印刷